

今後の国土基盤専門委員会の開催について（案）

1．目的

国土形成計画が求める独自性の高い広域地方計画の円滑な作成に向け、専ら国土基盤形成の分野に関して、広域地方計画協議会、合同協議会、分科会が有すべき戦略的な視点や着眼点、これら協議会等の自発的な計画策定誘導に向けた情報提供のあり方等についての検討を行う。

2．開催の時期、頻度

平成18年10月～平成19年3月に3回程度開催する。

3．主な議題

（1）国土基盤の形成に関連して、広域地方計画において広域地方計画協議会等¹が重視すべき事項（別添参照）

広域ブロックにおける与条件
戦略的な視点
着眼点

（2）広域ブロックの検討に資する情報、データ

広域ブロックが独自に選定するアウトカム指標のメニュー
戦略課題解決のための手法事例
その他

（3）広域ブロックにおける検討の状況

（4）その他

¹合同協議会、分科会を含む。

(別添)

広域地方計画における国土基盤関連の検討課題(案)

広域ブロックにおける与条件

(例えば)

- ✓ アジアに対する地理的、地政学的相違。
- ✓ 経済社会活動に与える自然条件の影響。
- ✓ 年齢構成、世帯構造等の社会的背景。
- ✓ 伝統、歴史、文化、風土。
- ✓ 地震、津波等の災害リスク。
- ✓ 流域系や植生等の分布。
- ✓ 国土基盤ストックの量と質。
- ✓ その他データで追う客観的な広域ブロックの姿。

広域地方計画策定の戦略的な視点

(例えば)

- ✓ 他の広域ブロックが目指す国土基盤形成との差別化(ブロックの異なる将来イメージ、異なる圏域構造のイメージ、異なる産業構造への対応、地域が有する国土基盤形成課題、課題解決に向けた異なるアプローチ等)を如何に図るか。
- ✓ 広域ブロックが重視する国土基盤サービスの水準としてどのようなアウトカム指標を設定するか。
- ✓ 広域ブロックの有する地域アイデンティティの重層性(広域ブロックのアイデンティティと各地域のアイデンティティのヒエラルキー)をどの様に捉えるか。
- ✓ 圏域構造の多極性及び重層性をどの様に形成してゆくか。
- ✓ その他。

広域地方計画策定の着眼点

(例えば)

- ✓ 太平洋や日本海等の両海洋の活用、三大湾や瀬戸内海等の内海の活用。
- ✓ ブロック中心都市の国際競争力。
- ✓ 競合する東アジアの都市、連携したい都市。
- ✓ 観光・文化資源等の発掘、開発、リノベーション。
- ✓ 地域の自主的な取り組みや自助、共助の努力への投資。
- ✓ 国土基盤の運営、管理の担い手。
- ✓ 交通と情報通信の代替性。
- ✓ 情報通信技術を活用した交通、防災機能の高度化。
- ✓ その他。